

当センターでは地震、水害、土砂災害など、あらゆる災害に関する研究を進め、その成果を皆様の家庭や地域での防災・減災活動に役立てていただけるよう、日々活動しています。

その中でも重要な取り組みの一つが、過去に起こった地震について調査する「歴史地震研究」です。

南海トラフ巨大地震のような大きな地震は、はるか昔から繰り返し発生しています。そのため、その大きさや被害エリアに関する知見を得ることが、将来発生する地震に備える上で大変重要となるのです。

今でこそ、地震計などの観測機器が発達し、発生した地震の大きさや周期を知ることができるようになりましたが、昔の地震を知る主な手掛かりは、当時を記録した「古文書」や「石碑」、「市町村史」、「社史」などの歴史的資料と、当時を知る経験者の日記・手記や証言などです。

そこで歴史地震研究者は、これらの記録や記憶をひも解き、かつての被災地に赴いてその傷跡を調査することで、いつか再び訪れる将来の地震の姿を明らかにしようと研究に励んでいます。

名古屋大学減災連携研究センターでは、皆様から頂いたご支援で「昭和東南海地震 特別研究チーム」を編成、この地震を後世に伝えるための取り組みを実行します。

一人一人が地域で発生する地震について知ることは、地震について自分事として考え、家族や親せき、友人が不幸にならないよう、家屋の耐震化、家具の固定などの自助を進め、あわせて隣近所や地域との助け合いなどの共助によって、切迫する大きな地震災害を乗り越える力をつけることが期待できます。



減災連携研究センター長 福和伸夫

## ご寄附の申し込み方法

### ● 銀行・郵便局で振込用紙による方法

- ・振込用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付きATMでご利用いただけます  
※ゆうちょ銀行以外ではご利用いただけませんのでご注意ください
- ・減災連携研究センターまでEメール(fund@gensai.nagoya-u.ac.jp)又はFAX(052-789-5023)で送付先をご連絡ください。  
専用の振込用紙を送付させていただきます。  
※払込用紙による入金の日日は、11月14日15時までになります  
(それ以降は、払込の利用ができかねます)

### ● Webによる方法

- ・下記URLからお申し込みください。  
(<https://readyfor.jp/projects/nagoya-gensai>)
- ・詳細はWebをご覧ください。



※振込手数料はご寄附者様のご負担になります。



いただいたご支援は、クラウドファンディングサービス Readyfor を通じて本学に寄附されます

本プロジェクトの目標金額は300万円です。申込期限内に目標金額のご支援が集まった場合に成立となり、ご支援を活用させていただきコースに応じた感謝のお気持ちをお返しさせていただきます。

不成立となった場合、Readyforまたは名古屋大学は、ご支援者様に対し、ご支援金を返金させていただきます。なお、ご支援者様と連絡がとれない場合、ご支援者様の返金先口座が不明である場合その他ご支援者様に対する返金ができない場合、Readyforまたは名古屋大学は、その判断により、返金できなかったご支援金を、Readyfor 所定の団体に寄附させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学 減災連携研究センター

FAX:052-789-5023

E-mail : fund@gensai.nagoya-u.ac.jp



減災連携研究センター  
Disaster Mitigation Research Center

ご存知ですか？  
昭和東南海地震

2018年9/1(土)~11/15(木)

# 戦災で埋もれた『昭和東南海地震』の記録と記憶を後世へ残したい

1944（昭和19）年、南海トラフを震源とした「昭和東南海地震」が、戦時中の日本を襲いました。

死者・行方不明者が1,000名を超えたこの地震では、多くの軍需工場が被災し、動員されていた学生が犠牲となるなど、産業にまつわる被害や犠牲が多かったことも分かっています。

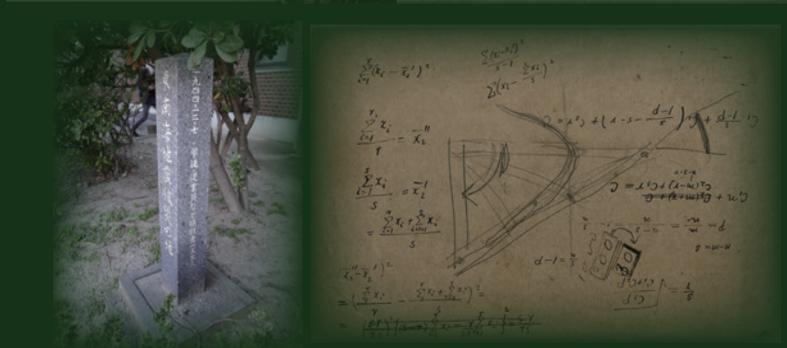
しかし、当時は戦時中だったということもあり、昭和東南海地震のことを伝える資料は十分に集められていません。地震発生から70年以上が過ぎ、当時を記憶している方も高齢です。このままでは地震に関する記録や記憶が歴史に葬られてしまいます。

名古屋大学減災連携研究センターでは、散在している歴史的資料（市町村誌、古文書、企業の社史等）の収集と整理、ならびに現地調査を行い、同地震の詳細について取りまとめるため、クラウドファンディングによる研究資金の募集をいたします。

研究成果はデータベース化して減災館内で閲覧可能とするほか、特別企画展を開催して、この地震について学び、次なる南海トラフ巨大地震に備える契機となるような情報提供に活用させていただきます。

激甚災害の記憶と記録を後世に残すため、ご協力ください。  
よろしくお願いいたします。

## 目標金額 3,000,000円



【1 段目】中央気象台『極秘 昭和十九年十二月七日 東南海大地震調査概報』1945年より

【2 段目】左：東南海地震被災地の碑（半田市）  
右：東海大学地震研究所による南海地震の調査資料、宇佐美龍夫氏寄贈

【3 段目】左：東海大学地震研究所による南海地震の調査資料、宇佐美龍夫氏寄贈  
右：倉本為一郎編『昭和地震誌』1949年、南輪内村震災記念會発行より



【4 段目】名古屋港区の住家倒壊、中央気象台『極秘 昭和十九年十二月七日 東南海大地震調査概報』1945年より

【5 段目】左：雁居公園 殉難学徒の碑（半田市）  
右：尾鷲町のようす、中央気象台『極秘 昭和十九年十二月七日 東南海大地震調査概報』1945年より



皆様からの大切なご寄附は、下記事業に使用させていただきます。

- ❖ 昭和東南海地震について、愛知県内を対象として、散在している歴史的資料（市町村誌、石碑や史跡、神社誌、古文書、企業の社史等）の収集とレビュー、ならびに現地調査を行います。
- ❖ 調査時には、昭和東南海地震に関係した体験談や手記なども、併せて収集し、必要に応じ取りまとめます。
- ❖ これらの調査データをもとに、昭和東南海地震の慰霊碑、記念碑、遺構等を取りまとめた報告書を作成するとともに、名古屋大学減災館にて特別企画展を開催し、当時の記録と記憶を広く周知します。
- ❖ 調査結果を集約・整理する過程で、歴史的資料の情報データベースを構築します。このデータベースは、減災館に保管し、来館者に開放します。

## 寄附者への特典

**Aコース【3,000円】**特別企画展の紹介ページにご芳名を掲載します。（リターンおよび送付物）  
・サンクスメール  
・減災連携研究センターHP「減災館News&Topics」上の特別企画展のお知らせに、支援者のリストが記載されたPDFを掲載いたします。（辞退可、ペンネーム可）  
・寄附金領収書

**Bコース【10,000円】**昭和東南海地震特別研究チーム報告書を進呈します。（リターンおよび送付物）  
・3,000円コースの内容に加え、  
・昭和東南海地震特別研究チーム報告書に、ご支援いただいた方のご芳名を掲載いたします。（辞退可、ペンネーム可）

**Cコース【30,000円】**減災連携研究センター職員による減災館特別見学ツアーにご招待します。（リターンおよび送付物）  
・10,000円コースの内容に加え、  
・減災館特別見学ツアーの参加券  
※あらかじめ複数設定された対象日の中から選んで参加いただけます。

**Dコース【50,000円】**昭和東南海地震特別研究チーム（仮称）報告会にご招待いたします。（リターンおよび送付物）  
・30,000円コースの内容に加え、  
・昭和東南海地震特別研究チーム報告会へご招待（開催場所：名古屋大学減災館、2019年5月を予定）  
※報告会の開催日にご都合が悪く、参加いただけない場合は、報告会当日の資料を進呈いたします。

**Eコース【200,000円】**減災館内にご芳名の入った銘板を設置します。（リターンおよび送付物）  
・50,000円コースの内容に加え、  
・減災館内に設置した銘板にご芳名を刻まさせていただきます。

名古屋大学へのご寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは下記URLをご覧ください。  
<https://readyfor.jp/projects/nagoya-gensai>  
寄附金領収書：2019年1月末/その他リターン：2019年4月末 までにお送りします。